



波田中学校吹奏楽部による開会演奏



開会式& アクトホール会場

# 波田文化祭 2014



**館報**  
**はだ**

スージーちゃん スイカ7くん

平成26年11月1日現在

世帯数	5,864戸
人口	15,648人
男	7,583人
女	8,065人

「見に行こう一人ひとりの輝きを」をテーマに掲げ、勇壮な安留風寿太鼓の演奏の後、実行委員会より開会が宣言されました。そして体育館、公民館の各会場でも様々な発表、展示、催しが行われました。

アクトホールでは26日(日)に波田で活動を行う文化サークル、スポーツクラブによる舞台発表が催され、ダンス、舞踊、空手など様々な団体が日頃の練習の成果を発表しました。事前に頂いた舞台発表プログラムを見ると、実に多くのクラブ、サークルが積極的に活動していることがわかります。



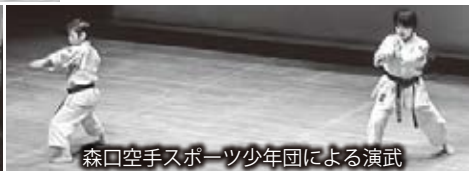
観客の皆さん



ラブリーキッズによるダンス



アルプスイいききクラブの発表



森口空手スポーツ少年団による演武

発表時間各10分の中で精いっぱいのパフォーマンスを発揮していましたが、観客も発表者の方々も、もつと舞台を楽しみたいと感じたのではないのでしょうか。一方、発表の合間では、裏方さんが舞台準備を手際よく進めていました。会場の盛り上がりを見て、来年は土日の2日を舞台発表に充てても良いのでは、と感じたほどです。発表者の皆様、並びに関係者の方々、お疲れ様でした。

## 公民館会場



去る10月25日・26日に行われました波田文化祭について書いてみました。会場はアクトホール、体育館、公民館で行われました。公民館では、生涯学習フェスティバルということで発表されていきました。

どの部屋を拝見しても、それぞれ趣があり、創意工夫があり感心致しました。中にはひとつの作品に半年以上もかかるものもあるそうです。趣味と実益を兼ねているからこそ出来ることではないかと思えます。

(A・O)



自分も多少木工を手掛け、子供向けの椅子を作っていますが、この作品もかわいらしく、しっかり出来ていて、子供たちが思わず座りたくなるようなすばらしい椅子だと思います。



日頃趣味で草花の写真を撮り、楽しんでる者にとつて、ボタニカルアートは、一味違った芸術だと感じています。今回の作品も丁寧に心の魂が入っている作品だと感じました。



来場者の感想です。



# 波田文化祭 2014

## 体育館会場



波田に移住して初めての文化祭見学でしたが、展示品は力作が多く、中にはプロ並みの作品もあり、おおいに楽しめました。掲載の写真は体育館での催しですが、文化祭の雰囲気は少しでもお伝えできればと思っています。(小沢 徹)



10月7日、波田リトルリーグ忠地監督と選手17名が波田小学校の黒澤増博校長を表敬訪問し、上田市で開催された「2014年度信越マイナー大会兼第4回サンケイスポーツ旗争奪兼第23回長野県警察本部長杯争奪戦」における銅メダルの獲得と「2014年度信越リトルリーグ秋季大会」

## 波田リトルリーグ 小学校を表敬訪問



ベスト4進出は22年ぶりの快挙



写真提供：(株)市民タイムス

への出場を報告しました。波田リトルリーグは創立34年、小学生を対象に、野球を通じた人と人との和、相手を楽しめる心と礼儀、そして努力することの大切さを学ぶ場として、波田下島グラウンドで活動しています。小学5年生以下の16チームで開催された信越マイナー大

会では、各地区の予選を勝ち抜いた強豪を相手に日頃の練習の成果を存分に発揮し、ベスト4へと進出、銅メダルを獲得しました。続く信越秋季大会においても、中南信予選を勝ち抜き、本選ではベスト8に進出するという大躍進のシーズンとなりました。信越マイナー大会でのベスト4進出は、波田リトルとし

て22年ぶりの快挙とのこと。彼らが勝ち取ったこの大きな栄光は、波田地区の誇りであり、彼らの後に続く後輩たちの目標となるでしょう。これからの波田リトルリーグの活躍に大注目です。頑張れ波田リトルリーグ！



秋一番このごろ実り、食欲、読書、スポーツ、ウォーキング、紅葉めぐりなどの小旅行には一番いい時期なのに、残念な問題が少なからず起きています。森の生態系の一員である熊が里に出てしまう。今年がブナの実は凶作も一因なのか。各地で熊の出没が相次ぎ、波田地区も出没情報が絶えない。

県内では27人が怪我をし、殺処分された熊は326頭にのぼる。人にとっても熊にとつても、不幸な遭遇だ。出没を防ぐには、人が知恵を巡らすしかないのか。熊の食生活は、調べによると季節によってメニューが違ふという。春は前年のドングリや草、夏はサクラ類の果実、アケビなどの果実。秋はドングリ、アケビなどの果実。結実量は年によって変動するので、採食行動も変わる。豊作だと山の一部にとどまるが、凶作の年は広範囲になる。ブナ等の実は豊作の翌年は凶作になる。ブナ林の多い東北地方は気温などから豊凶を予測、翌年の出没予測をしている県もあるらしい。長期的に予算対策を整えられるという。その場限りではなく、森の生態系保全の観点から対策等を練っていくようにしなくてはいい。